

Teacher(s)		Subject group and discipline	保健	Program	Global / STEM / Liberal Arts
Unit title	Well being とは？②	MOIS Year	5	Unit duration (hrs)	18 term

INQUIRY: Establishing the purpose of the inquiry

Key concept ・ 重要概念	Related concept(s) ・ 関連概念	Global context ・ グローバルな文脈
関係性	バランス 環境	アイデンティティと関係性

Statement of inquiry ・ 探究のテーマ

個人として、社会人として、地球人として「生きていく」ということをよく考え、問題解決に向け批判的に物事を捉え、最適な方法を選び、本質を見抜く術と知識、ポジティブな志向（エンパワーメント）があれば、Well Being を実現することが出来る。

ROK ・ TOK Connections	Knowledge Questions ・ 知識に関する問
生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指すことで、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	我々にとって「Well being」とは何か？

Inquiry questions (代表的な問い)

Factual ・ 事実的問:

- ・ヘルスプロモーションと「Well being」との間にはどのような関係性があるのか。

Conceptual ・ 概念的問:

- ・「Well being」とは何か。

Debatable 議論的問:

- ・「Well being」を達成したり、支えたりするためには、どのようなことが必要か？

Objectives ・ 目標	Summative assessment ・ 総括評価課題	
<p>【K 知識・技能】</p> <p>i.個人及び社会生活における健康・安全について分析・理解することができるとともに、これまで身につけた事実的、手続き的、概念的知識などを効果的に転移し、なじみのない複雑な状況における問題を解決していくことができる</p> <p>【T 思考・判断・表現】</p> <p>i.健康についての自他や社会の改善に向けた課題を発見し、目標や計画の作成や有効性を目的や状況に応じて他者に適切に表現することができる。</p>	<p><u>GRASPS Statement</u></p> <p>我々人類にとっての健康観は時代と共に移り変わってきました。まだ医療技術が発達していなかった時代には、感染症は超自然的な現象、神々や悪霊の怒り、呪いの結果として捉えられていました。WHO による健康の定義が提言される以前は、「健康＝病気にならないこと」という考え方が主流でした。</p> <p>その後、人類は様々な困難を乗り越えながらテクノロジーを発達させ、平均寿命を延ばし、人生100年時代と呼ばれる時代を生きるようになりました。しかしその一方で、私たちはVUCAの時代ならではの新たな健康課題に直面しています。新しい時代における新しい健康観とは一体どのようなもののでしょうか。あなたたちが生きるこれからの時代、自身だけでなく家族、社会、世界全体をより良いものにしていくために、どのような方策、価値観、哲学が必要となるのでしょうか。4年生に引き続き Well Being というキーワードについてより深く探究していきます。新しい時代における健康観を皆さんでアップデートしましょう。</p> <p><u>Goal ・ 目的</u></p> <p>Well being とは何かを定義し、豊かに生きる力の素地を身につける。</p> <p><u>Role ・ 役割</u></p> <p>Well being の実践者と支援者</p> <p><u>Audience ・ 相手</u></p> <p>地球・動植物</p> <p><u>Situation ・ 状況</u></p> <p>校外エントリーや仲間とのディスカッションを通し、Well being の担い手としての考えや価値観を再構成し続ける。</p> <p><u>Product/performance ・ 成果物</u></p> <p>校外コンテストへのエントリーとそのプロセスと成果の発表</p> <p>自らの Well being 観についての発表</p>	<p>Connection between the summative assessment and the statement of inquiry</p> <p>総括評価課題と探究のテーマのつながり</p> <p>学校内から学校外へ学びのフィールドを広げ、社会にある価値観や評価基準に触れることで、自らの「Well being 観」の昇華を目指す。</p>

	<p><u>Standard</u> ・ <u>スタンダード</u></p> <p>自分なりの Well being の定義を明確に言語化し、豊かに生きる力の素地を身につけている</p> <p><u>その他の総括的評価課題について</u></p> <p>なし</p>	
Approaches to learning (ATL) ・		
自らの学習を調整しようとする側面		
<p>【批判的思考スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事実に基づき、時事的で、概念的な、議論の余地のある問題を提起する ・ 課題を認識し評価する。 ・ さまざまな解決策を提案し、評価する。 ・ 述べられていない思い込みや偏見を認識する。 ・ リスクを評価し管理する。 <p>【創造的思考スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の目的、あるいは目的とアイデアを予期しない、あるいは独特な方法で関連づける。 ・ 独自の作品やアイデアを創造する。既存の作品やアイデアを新しい方法で用いる。 ・ 比喩や暗喩をつくり出す。 		
粘り強い取り組みを行おうとする側面		

【批判的思考スキル】

- ・多角的なものの見方に基づきアイデアを検討する。
- ・傾向を特定し、可能性を予測する。
- ・障害や課題を特定する。
- ・システムやアプリケーションを修理する。

【創造的思考スキル】

- ・思考の可視化の方法やテクニックを実践する。
- ・確証のある問題への新しい解決策を創造する。
- ・新しい機械やメディア、テクノロジーを考案する。

Learner Profile

バランスのとれた人

ACTION: Teaching and learning through inquiry

Content Term または、小単元	Learning process		
	Learning experiences and teaching strategies ・学習活動と指導の アプローチ	Formative assessment 形成的評価	Differentiation 個別最適化
環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備	<p>【コアテーマ】「環境に良い」とはどういうことか（LCA の観点から）</p> <p>【展開】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「環境に良い」ものを挙げる（ブレインストーミング） 「環境に良い」と思った理由を班ごとに対話形式で考える LCA（Life Cycle Assessment）という概念の紹介 班ごとにテーマを選択し、「本当に環境に良いのか」を検証する 各自で「本当に環境に良いもの」を考案し「環境に良い街」を作る 互いに「本当に環境に良いのか」意見を交換する まとめ（本日の Well-being） 「環境に良い」とはどういうことか？（概念的な問い） 「合理的な行動を取れるかどうかに知識がどの程度関係するのか？」 （議論の余地のある問い） 	<p>（主）相手をリスペクトしながら協働して意見を出し合う できている</p> <p>（思）自らの思考や行動をメタ認知し改善するために批判的思考力を発揮できている</p>	<p>・理由を答えることができない生徒に対して具体的な発問をすることで発言を促す</p> <p>・必ず全員のアイデアに対して誰かがコメントできるように配慮する</p>
Resources			
<p>〈教員〉 PC, プロジェクター、ポインター、教科書、関連書籍一式（司書教諭に協力要請）</p> <p>〈生徒〉 PC, スケッチブック、教科書、筆記用具 ※使用するネットサービス→Microsoft Teams、メンチメーター、Canva、その他</p>			

REFLECTION: Considering the planning, process and impact of the inquiry

Prior to teaching the unit	During teaching	After teaching the unit
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を中心に据えながらも、得た知識を活用して課題を見出し、社会構造に着目した解決策を探るための探究的な学びに最も重点をおく ・対話形式の授業では、「必ず全員発言すること」と「まず相手の考えを尊重してから自分の主張を述べること」をルール化する。 ・自らのアイデアをメタ認知するための「Critical thinking time」を設ける。 		